

さい、議会だより



平成 30 年度佐井村こども議会（平成 30 年 11 月 12 日）

1 2 月定例会の主な内容

- ☆ 教員住宅の整備について 4 ～ 5 ページ
- ☆ 一般質問に 2 名登壇 6 ～ 9 ページ
- ☆ 「佐井村こども議会」を開催 12 ～ 15 ページ
- ☆ お元気ですか「念仏のリーダー」 16 ページ

審議した主な議案

○特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

平成30年人事院勧告及び青森県人事委員会の勧告に基づき青森県が実施する方針に沿い、特別職の職員の期末手当の支給率を改正する。

平成30年12月分 支給率 165/100 → 170/100

平成31年6月分 支給率 150/100 → 160/100

平成31年12月分 支給率 170/100 → 160/100

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成30年人事院勧告及び青森県人事委員会の勧告に基づき青森県が実施する方針に沿い、宿日直手当、職員の給料を若年層で1000円程度、その他400円程度の引き上げを行なう。また、期末手当及び勤勉手当の支給率を改正する。

・宿日直手当 4,200円 → 4,400円

(職務に引き続き行なわれる場合は6,300円 → 6,600円)

・期末手当 平成31年6月分 支給率 117.5/100 → 125.0/100

平成31年12月分 支給率 132.5/100 → 125.0/100

・勤勉手当 平成30年12月分 支給率 85.0/100 → 90.0/100

平成31年6月分 支給率 85.0/100 → 87.5/100

平成31年12月分 支給率 90.0/100 → 87.5/100

【議員発議】

○佐井村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

佐井村が実施する給与改定方針に沿い、議会議員の期末手当の支給率を改正する。

平成30年12月分 支給率 165/100 → 170/100

平成31年6月分 支給率 150/100 → 160/100

平成31年12月分 支給率 170/100 → 160/100

平成30年第4回定例会は、12月5日から7日までの3日間の会期で行われました。村長から、条例案4件・補正予算案3件・同意1件・その他1件の計9件、議員から条例改正案1件・規則改正案1件が提出され、それぞれ原案どおり決しました。

平成30年度

佐井村こども議会

佐井村では初めてとなる「こども議会」は、佐井中学校にご協力いただき、社会科(公民)で社会の仕組みなどを学ぶ3年生17人をこども議員に選出し、開催しました。

4つの班ごとに行なった一般質問では、実際の議会と同様に、樋口村長はじめ担当課長などが答弁を行ないました。

こども議会の概要は、12ページから15ページに掲載しています。(関連記事:5、9ページ)

【議員発議】

傍聴規則の一部を変更

標準町村議会傍聴規則の一部改正に合わせ、佐井村議会傍聴規則の一部を変更。

個人情報保護の観点から、傍聴希望者が連名で記載する「傍聴人受付簿」を、1人ずつ記載する「傍聴人受付票」に改めます。

平成31年3月議会から受付方法を変更する予定ですので、傍聴においでの際は必要事項の記入にご協力をお願いします。

○定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について

平成27年10月5日、むつ市と締結した「定住自立圏の形成に関する協定」の産業振興に関する取り組みに『地域資源を活用した地域経済の拡大等』を加え、地域資源を活用した地域経済の拡大及び地域活性化を図るため地場産品の販路拡大事業をはじめとした各種事業に取り組む。

※業者を通じ、ブランド化（商品化）されていない下北の食材を首都圏の飲食店や関連会社に提供し、知名度を高める取り組み。

下北の市町村が連携することで、季節ごとに旬の海産物や野菜などが提供できるようになる仕組みづくりを予定している。



さまざまなレシピが開発されている
世界三大健康野菜といわれる「アピオス」

補正予算の内容

会 計		補正前	補正額	計
一 般 会 計		25 億 2213 万 9 千円	△1510 万 3 千円	25 億 703 万 6 千円
		・ マイナンバーに関するシステム改修業務委託費 346 万 0 千円		
		・ 水産基盤整備費（福浦漁港機能保全工事費） △1004 万 3 千円		
		・ 土木費（仏ヶ浦港湾県営事業負担金など） △ 695 万 6 千円		
		・ 給与改定に伴う職員の給料、手当、共済費等の増額 など		
特 別 会 計	簡易水道	7376 万 4 千円	8 万 3 千円	7384 万 7 千円
		・ 給与改定に伴う職員の給料、手当、共済費等の増額など		
	下 水 道	1 億 5169 万 9 千円	44 万 8 千円	1 億 5214 万 7 千円
		・ 消費税の確定、浄化センター機器修繕に伴う増額		
	・ 給与改定に伴う職員の給料、手当、共済費等の増額			

佐井村教育委員会

教育長

祐川 俊樹（平成32年1月19日まで）

教育長職務代理者

岡本 良夫（平成31年10月27日まで）

委員

坂井 一尚（平成33年12月26日まで）

委員

宮川由実子（平成32年12月19日まで）

委員

田中 幸恵（平成34年12月21日まで）



たなか ゆきえさん
田中 幸恵（福浦）

新 任

教育委員会 委員

田中 幸恵さん

佐井村教育委員会委員 川岸由り子氏が、平成30年12月21日の任期満了をもって退任することから、後任として田中幸恵氏を任命することに、全会一致で同意しました。

教員住宅管理業務 教職員に配慮した住宅を

宮川委員

教員住宅管理に係る工事費が減額された理由は、

改修工事の
実施を断念

教育次長

教員住宅入居希望者が少ないことや、工事発注時期の業者の状況を勘案し、今年度中の工事実施が難しいと判断したため減額計上した。

新築・改築
教職員への配慮は

宮川委員

大間町やむつ市から通勤している教職員が多いと聞く。今後、教員住宅を新築または改築するうえで考慮する部分は、

住み心地の良い
住宅を早期に整備

村長

教員住宅が古く、住み心地があまり良くないこ



旧森林管理署（営林署跡地）に
建設中の佐井小学校教員住宅

とが影響し、通勤者が多いものと考えている。

多くの教職員に地域と関わりを持つていただくため、早期に教員住宅を新築する。

村外に利点が多い

宮川委員

村外の方が生活面でも利点が多い。住宅の状況だけの問題ではないのではないか。

教員住宅への
入居を促す

教育長

村外には病院やスーパーがあり、村内より生活環境は整っていると思われるが、先生方の要望を取り入れた教員住宅を新築し、入居を促す予定である。

平成31年4月 福浦小中学校閉校 編入児童の学用品購入費を補助

宮川委員

教育振興費に補助金が計上されているが、

運動着などの
費用の一部を補助

教育次長

来年度福浦小中学校が佐井小・佐井中学校へ統合することにより必要となる、学校指定の運動着などの購入費補助金を該当児童2人分計上している。

以前の統合時と
同様が

宮川委員

平成18年度に原田小、磯谷小中、長後小中が佐井小・佐井中学校へ統合



学校行事は学校指定の運動着で
（佐井小学校運動会）

された時と同様か。

同様に協議し
決定した

教育次長

当時と同様に、PTAの方々との協議で補助内容を決定した。

今後の補助は

宮川委員

今後、該当児童に同様の補助はされるのか。

今回限りとする

教育次長

統合に伴うものなので、今回限りとする。

教員住宅整備事業

【新築】

【解体】

川畑委員

教員住宅整備に係る業務委託料が増額された理由は。

設計業務に
アスベストの調査

教育次長

解体を予定している教員住宅に対し、アスベストに関する調査が必要となつたため、設計業務委託料を増額する。

川畑委員

今年度2棟、来年度2棟新築を予定している教員住宅には、教職員の要望を取り入れているのか。

設計内容に

要望を反映

教育次長

広い収納スペースや風除室の設置など、いただいた意見を反映した住宅を新築する。

処理の工事費も
増額か

川畑委員

アスベストの処理に対する工事費が増額となる見込みは。

見直す可能性ある

教育次長

調査結果により、工事費の増額または工事内容を見直す可能性はある。



新築に伴い解体が予定されている佐井小学校教員住宅

教職員の
入居の見込みは

川畑委員

教職員が入居する見込みは。

学校長を通じ
お願いする

教育次長

学校長を通じ、入居のお願いをする。

こども議会

今後の開催は

宮川委員

11月12日、初めてのこども議会が開催されたが、今後の開催をどう考えるか。

継続すべき

村長

継続して開催すべきと、強く感じている。

学校行事との
日程調整は

宮川委員

学校の協力が必要なた



初めての開催された「こども議会」

内容や開催時期を
検討する

教育長

今回は佐井中学校3年生をこども議員としたが、1・2年生の議会傍聴や議員との懇談など、今回の感想や反省点を踏まえて内容や開催時期を検討し、子供たちが自発的に取り組めるようにしたい。



坂井文明議員

倒壊などの危険がある空き家 事故が発生する前に対応せよ

村長 — 特に危険なものは早急に対処する

坂井議員

昨年度設置された「空家等対策協議会」が調査した、村内の空き家などの状況は。

**特定空家の可能性
40軒を確認**

村長

平成28年度に整備した住宅地図などの資料を基に現地調査を行ない、「特定空家と思われるもの」が40軒確認された。

調査は外観のみ

参事・総合戦略課長

このまま放置すると倒壊の恐れがあるもの、衛生上有害となる恐れがある状態の家屋と小屋を、外観から判断し集計した。

荒廃した空き家等
もつとある

坂井議員

すぐには倒壊の恐れがないとしても、台風などの強風で屋根のトタンや壁材が飛んでいる家屋や小屋はもつとあるのではないか。

今後さらに
調査する

参事・総合戦略課長

今後さらに調査し、協議会で「特定空家と判断」する。

影響がありそうな
空き家の対策は

坂井議員

防災上危険な空き家、衛生・景觀に影響を及ぼしかねない空き家への対策は。

協議会で決定し
対策を実行する

村長

国の特別措置法や村の条例に基づき、協議会で対策を決定し実行する。

対策が何も
取られていない

坂井議員

危険な空き家への具体的な対策は何も取られていないのではないか。

状況把握に
努めている状態

村長

まだ状況把握に努めている段階。これから具体的な協議に入る。

事故発生前に
対策すべき

坂井議員

国の特別措置法では、



玄関部分が破損した空き家
動物の住みつきなどが懸念される

特に危険なものは
早急に対処する

村長

通学路に面した壁が崩落したものなど、特に危険と思われるものを3軒

12月定例会

空家等対策の推進に関する特別措置法（平成 26 年法律第 127 号）

◇『特定空家等』とは◇

- ①そのまま放置すれば、倒壊など著しく保安上危険となるおそれのある状態
- ②著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- ③適切な管理が行なわれていないことにより著しく景観を損なっている状態
- ④その他、周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切であると認められる状態

◇特定空家等は村が指定◇

村から助言や指導があったにもかかわらず適切な処置を取らなかった場合、土地に掛かる固定資産税の優遇措置が適用されず、税額が 6 倍程度に増額となる場合もある。
指定されても、建物の補修や整理を行なって改善することで、指定を解除することはできる。

佐井村空家等対策の適正管理に関する条例（平成 29 年条例第 3 号）

- 適切な管理が行なわれていない空家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことがないよう、村、村民、空家等の所有者等及び事業者が相互に密接な連携を取りつつ、協働して取り組まなければならない。
- 村長は、空家等の所有者に対し、必要な改善措置について、**助言**し、**指導**することができる。助言または指導を行なったにもかかわらず、なお管理不完全な状態にあるときは、当該所有者に対し、必要な改善措置を講ずるよう履行期限を定めて**勧告**することができる。勧告に応じない時は、履行期限を定めて**必要な改善措置を講ずるよう命ずる**ことができる。
- 村長は、命令を受けた者が当該命令に従わない場合において、他の手段によってその履行を確保することが困難であり、その履行を放置することが著しく公益に反すると認められるときは**代執行**を行なうことができる。

把握しており、これらは早急に対処したいと考えている。

空き家等の所有者
確認できているか

坂井議員

それらの空き家などの所有者は、確認できているのか。

所有者・関係者に
連絡している

参事・総合戦略課長

所有者または関係者には連絡している。

空き家等の
有効活用は

坂井議員

有効活用できそうな空き家への対策は。

移住・定住対策に
空き家を活用

村長

地域おこし協力隊員や漁師縁組事業で来村した方の住居として活用したものもある。

また、希望者があれば貸したいという方もいるので、農地をセットにするなど移住・定住に向けた体験型お試し住宅として整備することも考えている。

空き家バンクの
活用は

坂井議員

移住や定住を進めるうえで空き家バンクを積極的に活用する考えは。

活用し政策を展開

村長

村のホームページなどで情報発信、空き家バンクなどの活用で人口減少に歯止めを掛ける政策を展開したい。



弘前圏域（弘前市・黒石市・平川市など）の
空き家・空き地を紹介するホームページ



竹内典和議員

高齢者の生活環境が悪化 買い物難民を救済せよ

村長——関係機関と対応を協議する

竹内典和議員

高齢化が進み、車を持たない高齢者は買い物などの日常生活に不便をきたしている。

村長は、この「買い物難民」の実情をどのように感じているか。

**商店の廃業
不便さを危惧**

村 長

状況を調査していないが、地域に昔からあった商店が廃業したことにより不便を感じている高齢者が多くいるだろうということは危惧している。

**有償運送事業の
改善は**

竹内典和議員

過疎地・福祉有償運送

事業を、より利用しやすくするための検討はされたのか。

一部を改善した

村 長

実施主体の社会福祉協議会と協議し、利便性向上のため改善した部分はある。

村は補助金で支援しているが、運転手の確保に苦慮している状況がある。

**移動販売や
商品の配達**

竹内典和議員

移動販売や商品の配達など、商店や商工会を巻き込んだ対策が必要ではないか。

段階的に取り組む

村 長

買い物代行や宅配サービスの実施に向け、段階的に取り組んでいく。

**スクールバスに
住民の乗車は**

竹内典和議員

コミュニティバスとスクールバスを一元化し、住民の買い物や通院、観光客の移動に配慮した対策ができないか。

**で
き
な
い**

村 長

スクールバスの購入や運行には国の補助金を活用しているため、一元化

した運行はできない。

**コミュニティバス
児童生徒の送迎は**

竹内典和議員

コミュニティバスがスクールバスを兼ねて児童生徒の送迎をすることはできるのか。

**可能だが
へき地診療に影響**

村 長

可能ではあるが、公共のバスが毎日福浦方面にも運行しているとすれば、福浦診療所のへき地診療が行なわれない可能性が出てくる。



野菜や海産物が買える「手づくりマーケット」

**生活環境の改善で
元気な高齢者を**

竹内典和議員

買い物弱者や買い物難民を支える仕組みづくりによって元気な高齢者が増えれば、結果として歳出の削減につながると思うが。

対策を協議する

村 長

入院患者や施設入所者が減少すれば、関係経費は削減される。商工会、NPO法人、大間町のスーパーなどと対策を協議したい。



有償運送事業は、主に通院に利用されている

空き家・廃屋が増加

近隣への被害防止に努めよ

村長 — 防災上必要であれば速やかに対応する



空き家となり、長年手入れがされず
屋根がない状態となった家屋

竹内典和議員

村が把握している空き
家の実態は。

33軒の空き家
所有者が村外に

村長

調査の結果、所有者が
遠方のもので33軒、管理の
行き届いていないもの5
軒、利用できそうなもの
150軒となっている。

もっと迅速に
取り組むべき

竹内典和議員

すでに被害が出ている
空き家もあるので、もっ
と迅速に取り組むべきと
思うが。

必要があれば
速やかに対応する

村長

条例を整備しているが、
防災上必要な状態であ
れば、対策協議会の決定を
待たずに速やかに対応で
きるよう議論していく。

空き家の
再利用計画は

竹内典和議員

空き家を再利用する計
画があると聞くが。

移住・定住の
「お試し住宅」を

村長

移住・定住を考えてい
る方が佐井村で
の生活を体験で
きるよう「お試
し住宅」を準備
したい。

「こども議会」での答弁

内容は適切であったか

教育長 — 内容の一部を補足する

竹内典和議員

関係各位のご協力によ
り開催された「こども議
会」だが、こども議員の
質問に対する答弁は適切
だったか。

一例として、通学路で
クマが目撃されたことに
よる生徒の不安を考慮し
ない答弁ではなかったか。
(14ページを参照)

内容に沿わない
部分があった

教育長

答弁の一部に、内容に
沿ったものと言いつつも
分があった。

予期せずクマに遭遇し
た場合の対処方法を学ぶ
場を設けるなど、学校と
相談しながら組みみた
い。

スクールバスの

利用条件は

竹内典和議員

質問した議員は、クマ
と遭遇した時の対処方法
を学びたいのではなく、
遭遇しないためにスクー
ルバスを利用したいと言
っていた。スクールバス
の利用の条件は。

小学生4 km以上
中学生6 km以上

教育長

基本的に、通学距離が
4キロメートル以上の児
童と6キロメートル以上
の生徒としている。安全
が確保されるまでの間、
希望する児童・生徒がス
クールバスを利用するこ
とは可能。

こども議会

村長の感想は

竹内典和議員

こども議員は一生懸命
準備し質問していたと感
じているが、村長の感想
は。

素晴らしい
内容だった

村長

佐井村では初めての開
催となったが、村政全般
を捉えた素晴らしい内容
だった。議員にとっても
大いに参考になったもの
と思う。

願掛公園の整備について（平成30年6月定例会）

池や手すりの整備状況は

川畑議員

現在、願掛公園内の池の工事が行なわれているようだが。

12月中旬の
工期を見直す

参事・総合戦略課長

池の水を抜き状況を確認したところ、茅と睡蓮の根が想定よりも多く、12月10日とした工期の見直しを検討している。

工期を延長で
工事費も増額か

川畑議員

工期を延長することにより、予算も増額となる



重機による掻き揚げ作業が行なわれた池

のか。

契約金額に
変更はない

参事・総合戦略課長

当初契約したとおりの金額で調整している。

池の水位は
どう戻すのか

川畑議員

池の水位はどのように戻すのか。

自然に回復させる

参事・総合戦略課長

地下からの湧水で、自然に回復させる。

睡蓮の植栽は

川畑議員

整備後、改めて睡蓮を植栽する考えは。

自然に繁茂させる

参事・総合戦略課長

矢越地区から、池の中央部に睡蓮を設置するよう要望があったが、植栽はせず自然に繁茂させる。

手すりの工事は

川畑議員

公園内の手すりの工事は。

来年度
改修工事を実施

参事・総合戦略課長

今年度中に改修に係る設計を行ない、工事の実施は来年度を予定している。

レポート

下北郡町村議会議員 合同研修会

派遣議員代表 川畑 勲夫

平成30年11月14日、ことであつた。

むつグリーンホテルで開催された平成30年度下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会に参加した。

林野庁東北森林管理局下北森林管理署 佐々木功署長を講師に招き、「森林林業の現状と課題 林業の成長産業化に向けて」と題した講演が行われた。

我が国は世界有数の森林国であり、国土面積の3分の2にあたる約2500万ヘクタールが森林であり、人工林を中心に毎年約7千万平方メートル増加している。

この人工林の半数が伐採期である50年を超えており、資源を有効活用すると同時に、循環利用に向けて計画的に再造成することが必要であるとの

また、森林吸収源対策に係る地方財源を確保するため、平成31年度の税制改正において、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）を創設することであった。

今回の講演では、森林、林業の大切さを学び、山林に囲まれた当村も森林資源の有効活用などを議論していくべきであると感じた。

「美しい村」の取り組みについて（平成30年3月定例会）

アクションプランの実現は

坂井議員

プロジェクトハウスを整備し、プロジェクトチームを組織することとなっていたが、活動状況はどうか。

プロジェクト

チームが始動

村長

昨年度村に寄贈された若山家（大佐井）を活動拠点のプロジェクトハウスとし、34人のメンバーでプロジェクトチームが始動している。

アクションプラン

取り組みは

坂井議員

アクションプランの実現に向けた取り組みは、

9グループで活動を進めている

村長

9グループに分かれ、協力者を得ながら活動を進めている。

モデル地域住民の了承は

坂井議員

活動のモデル地域を3か所選定しているが、住民の了承は得られたか。

意見交換で

理解を求めた

村長

6月に原田・矢越・牛滝地区で住民との意見交換を行なった。取り組みに対する理解を求め、活動には行政の指導を受けたいとの意見をいただいた。

助成金の予算編成実現性は

坂井議員

1地域に対し50万円を助成する予算が計上されているが、計画性や実現性のない予算編成ではなかったか。

活動なく

支出はない見込み

参事・総合戦略課長

地域の意向により、今年度は事業計画の策定のみ行なう。

各地域の活動に伴い最大50万円の助成を予定していたが、活動がないため、支出はない見込み。



プロジェクトチームはプロジェクトハウスを中心に活動している

レポート

東京佐井同郷会

派遣議員代表 竹内 典和

JR神田駅東口を日本橋方面に50mほど進んだ小さなビルの地下に「跳人」という居酒屋がある。11月17日（土）、午後1時から、今年もこの会場で東京佐井同郷会が行なわれた。

時間に余裕をもって入店したところ、奥本陽一会長はじめ役員の方々、村長はじめ役場職員、佐井村漁業協同組合の職員が準備に追われていた。席に着きしばらくすると、どこか懐かしい顔、見たことのある顔が次々と入店された。佐井弁であいさつすると、なんとなく、どこの方か分かるような気がした。

なぜか佐井村に帰ったかのような雰囲気の中、開宴。女性の参加者が持参した自慢の田舎料理をつまむと、思い出話や故郷の話に弾みがつく。私の同級生も数人見え、大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごした。

三味線の演奏あり、抽選会あり、古希祝いのプレゼントありで、年一度の佐井会（再会）を、みなさん思い切り楽しんでいった。

同郷会の資金不足や参加人数の減少など、問題点も多少あるようだが、何とか知恵を出し合い、協力し合って、この会を続けてほしいと思う。

こども議会

11月12日(月)午後
1時30分から、平成30
年度佐井村こども議会を
開催しました。

佐井中学校3年生17人
が議員を務め、磯川颯汰
議長、石黒穂乃花副議長
の進行により、班ごとに
一般質問を行ないました。

こども議員は、中学生
ならではの視点で行政に
問題提起し、村長はじめ
各課長などが答弁を行な
いました。

こども議員の提案は、
今後の村政運営に活かさ
れることとなっています。



磯川 颯汰 議長

1 班



東出 美咲 議員



樋口 美穂 議員



渋谷 姫菜 議員



畠中 小夏 議員

ゴミ処理などの
生活環境整備は

東出美咲議員

以前使われていた中道
地区のゴミの焼却場、原
田地区の最終処分場の現
在の状況は。

また、生活排水の処理
状況は。

広域的に
取り組んでいる

参事・住民福祉課長

環境基準に適合した広
域的な焼却施設が稼働し
たため、平成15年度に焼
却場を閉鎖した。

最終処分場は手続きが
複雑なこと、多額の費用
を要することから、閉鎖
に向け、継続的な保全措
置を取っている。

佐井地区の下水道
加入率は50%程度

産業建設課長

福浦・牛滝地区はほぼ
全世帯が下水道に加入し
ているが、それ以外の地
区の加入率は40〜50パ
ーセント程度となってい
る。

下水道加入率
向上の対策は

樋口美穂議員

水質保全のため、下水
道加入世帯を増やす対策
は。

住宅改修費用の
一部助成を実施

村 長

後継者のいない高齢世
帯が多く、加入世帯が増
えにくい状況である。負
担軽減のため、住宅改修

費用の一部助成を実施し
ている。

海岸漂着ゴミ
魚介類への影響は

渋谷姫菜議員

海岸漂着ゴミによる佐
井村の魚介類への影響は。
また、海岸漂着ゴミへ
の対策は。

被害報告はない

産業建設課長

これまでにゴミ(マイ
クロプラスチック)によ
る被害の報告はない。
プラスチックなどの分
解されない漂着ゴミは取
り除くしかないが、リサ
イクルやゴミを捨てない
よう啓発活動を行なっ
ていく。

通路(歩道)の
安全確保は

畠中小夏議員

通路路や歩道の安全確
保の対策は。

街灯や防犯灯を
LED照明に変更

参事・総務課長

街灯や防犯灯を、順次
LED照明に変更してい
る。故障の際は、地区・
町内会役員などを通じて
連絡をいただいている。

危険箇所の
把握に努める

産業建設課長

道路(歩道)の破損な
ど、危険箇所の把握に努
め、県に要望していく。
また、冬場は安全確保の
ため、歩道の除雪回数を
増やすなどの対応をする。

2 班



七戸 文寧議員



金沢 紫世議員



田畑 空議員



津田 怜議員

手づくりマートや
「ちょこっと」

村 長

介護予防や
健康づくり対策は

定期的に開催する

冬季に運動の場を

各種団体にご利用いただ
いている。
また、佐井村体育協会
では、毎年1月～2月に
「ナイター卓球大会」を
開催し冬場の運動不足解
消を図っている。

「手づくりマート」や
おさかな祭りにより、村
民の地産地消の意識が高
まっているものと考えて
いる。

佐井中学校に
「学校農園」は

健康づくり事業や
戸別訪問を実施

各種行事との調整もあ
り、毎月イベントを開催
することは難しいが、定
期的な開催を計画してい
る。また、各家庭の告知
端末機を活用し、気軽に
ラジオ体操ができる環境
を整えたい。

冬場にスポーツなどで
体を動かす機会を増やす
ための取り組みは。

また、5月に開店した
「ちょこっと」の商品は、
村内の産物を取り入れた
ものを条件としている。

また、5月に開店した
「ちょこっと」の商品は、
村内の産物を取り入れた
ものを条件としている。

利用計画があれば
農地取得は可能

健康づくり事業や
戸別訪問を実施

各種行事との調整もあ
り、毎月イベントを開催
することは難しいが、定
期的な開催を計画してい
る。また、各家庭の告知
端末機を活用し、気軽に
ラジオ体操ができる環境
を整えたい。

冬場にスポーツなどで
体を動かす機会を増やす
ための取り組みは。

また、5月に開店した
「ちょこっと」の商品は、
村内の産物を取り入れた
ものを条件としている。

また、5月に開店した
「ちょこっと」の商品は、
村内の産物を取り入れた
ものを条件としている。

利用計画があれば
農地取得は可能

参事・住民福祉課長

各種行事との調整もあ
り、毎月イベントを開催
することは難しいが、定
期的な開催を計画してい
る。また、各家庭の告知
端末機を活用し、気軽に
ラジオ体操ができる環境
を整えたい。

冬場にスポーツなどで
体を動かす機会を増やす
ための取り組みは。

また、5月に開店した
「ちょこっと」の商品は、
村内の産物を取り入れた
ものを条件としている。

また、5月に開店した
「ちょこっと」の商品は、
村内の産物を取り入れた
ものを条件としている。

利用計画があれば
農地取得は可能

介護予防や健康づくり
には、身体面の健康だけ
ではなく、社会参加や生
きがいづくりが必要。関
係機関や保健協力員と連
携し、事業や戸別訪問を
実施している。

健康づくり
イベントの開催は

七戸文寧議員
健康に関するイベント
の開催頻度は。



小学生以上が参加した地区・町内会対抗ソフト
ボール大会 (8月5日: 佐井中学校野球場)



毎年冬季に開催されているナイター卓球大会
(佐井小学校体育館)



佐井産のひじきの煮物などが売られている「ちょこっと」

3 班



東出 太陽議員



須藤 恋那議員



長島 優輝議員



木部亜寿香議員

野生動物による
被害への対策は

東出太陽議員

ニホンザルやクマによる農作物などの被害防止にどう取り組んでいるか。

計画的に
捕獲駆除を実施

村 長

有害鳥獣対策として、

計画に基づきニホンザルやクマを捕獲駆除している。また、農作物の被害防止として、ワナや電気柵の設置、モンキードッグなどによる追い上げを実施している。

安全な学習への
対策は

須藤恋那議員

児童・生徒が安全に学習するための対策は。

クーラーの設置を
検討している

村 長

児童・生徒の熱中症予防のため、国の補助金を活用し、教室にクーラーの設置を検討している。

登下校時の
安全対策は

須藤恋那議員

登下校の時間帯にクマが目撃されている。安全確保のため、スクールバスの利用やフェンスの設置はできないか。

バス利用者は
通学距離で決定

教育次長

通学距離により、スクールバスの利用者を決定している。

クマを想定した
フェンスは難しい

村 長

クマの目撃箇所にはばらつきがあるため、出没を想定し、通学路にフェンスを設置することは難しい。

交流人口の増加
取り組みの効果は

長島優輝議員

交流人口の増加を目的とした事業や広報活動は行なっているか。また、多言語化した佐井村ホームページの効果は。



国の交付金を活用し、新たに整備した佐井小学校スクールバス

効果はこれから

村 長

近年ホームページやパンフレットを英語や中国語で作成しているが、観光客の増加などの効果が見込めるのはこれからと考えている。

今後の
森林管理計画は

木部亜寿香議員

村内の山林は木々の伐採が進んでいるようだが、森林管理の今後は。

森林環境譲与税で
事業を実施する

村 長

「漁民の森づくり」植樹事業を継続して行なっている。また、来年度からは「森林環境譲与税」をもとに、手入れがされてこなかった民有林の間伐や森林整備の人材育成に取り組む。



海外からの留学生3人が出演した稲瀬川勢揃いの場
(平成30年3月4日：矢越地区春まつり)



観閲式で軽可搬ポンプ操法を披露する福浦少年消防クラブ
(平成 30 年 5 月 20 日)

少年消防クラブの
今後の活動は

石黒穂乃花議員

来年度の福浦小中学校
の統廃合により、「福浦少
年消防クラブ」の活動は
どうなるのか。

村 長

下北で唯一の「福浦少
年消防クラブ」の活動を
引き継ぐため、関係者と
話し合いをしている。

4 班



石黒穂乃花議員



大石 大輝議員



横浜 太地議員



佐賀 名月議員

下北では唯一
活動を継続したい

無人の木造家屋
(空き家) 対策は

大石大輝議員

村内に無人の木造家屋
が増えている。火災発生
時にはこれらの家屋によ
り被害が拡大する恐れが
あるのではないか。

村 長

昨年度の調査により、
危険な状態の空き家 40 軒
を含む 190 軒もの空き
家があることが分かった
ため、「佐井村空家等対策
計画」を策定し、持ち主
に適切な管理を指導する
こととした。

空き家などの
対策計画を策定

立つが、対策を取ってい
るか。

地域連携を
図っている

村 長

消防分署や地域の消防
団員による防火パトロー
ルが実施されている。ま
た、災害（火災）発生に
備えた防災訓練などで地
域連携を図っている。

空き家が増加
対策は

横浜太地議員

人口減少に伴う空き家
の増加、家屋の荒廃が目

人口減少への
対策は

佐賀名月議員

人口減少が深刻化して
いるが、村の対策は。

体験プログラム
ツアーを実施

村 長

村を訪れる人が楽しめ

体験プログラム
対象者の年代は

佐賀名月議員

それらの体験プログラ
ムは、どの年代を対象と
したものか。

子供も高齢者も
楽しめる内容

村 長

年齢を限定せず、子供
から高齢者まで幅広く楽
しめる内容としている。
また、年齢を限定したも
のとしては、村内の 40 代
までの男性と村外の女性
を対象とした「婚活イベ
ント」を実施している。



仏ヶ浦で開催された「ジオダイニング」
下北の食材を使った料理が振る舞われた（平成 30 年 5 月 17 日）

元気！で働く お年寄りを紹介



坂井 たよさん (83歳) 牛滝
「念仏のリーダー」

1 月18日(金)、牛滝地区の中心にある『真如庵』を訪ねました。

「今日は『お鏡直し』だし、寺さ参る人も多いの」と、早くからストーブを点けるなどの準備をしていた当番の女性が教えてくれました。少ないときは4人ほどしか集まらないそうですが、この日は10人も女性たちが集まり、お参りしていました。

昭和10年に牛滝で生まれ、奉公に出た3年ほどを除き、ずっと牛滝で生活されているそうです。

学校を卒業後、青森市内で住み込みの仕事をしていましたが、青森での生活が体に合わず、3年ほどで帰郷。その後、野平にある営林署の事務官舎で炊事の仕事をしましたが、23歳の時に結婚し退職。それから夫・息子と共に漁師の仕事をしてきました。

家

先輩たちに教わりながらご詠歌などを覚えませんが、今ではその先輩たちも1人、2人といなくなり、自分が先頭に立つようになったのだと教えてくれました。

でじつとしていいるより、外に出て体を動かしている方が好きだと話したよさん。夏場は畑で野菜を育て、冬場は寒のり(岩のり)採りに出掛けます。あまり体が動かなくなってきたと感じることもあるそうですが、それでも30〜40枚分ののりを採るのだそうです。

その一方で、趣味は読書と編み物。「目は悪いけど、ボケ



お茶を飲みながら、ちょっと休憩

防止にはちょうど良い」と、医療関係のミステリーや推理小説を好んで読むそうです。また、セーターでも靴下でも何でも毛糸で編めるのだそうです。

はつらつとされているため健康の秘訣を伺ってみました。が、しょっぱいものを控えているくらいで、特に意識はしていないとのこと。今まで大きな病気はしたことがないし、こうして寺に集まった女性たちとお茶を飲みながら世間話をし、笑いながら過ごすことが何よりも楽しいということでした。



お勤め(中央:坂井たよさん)

◇編集後記◇

平成31年最初の「さい議会だより」発行となりました。

「見やすく」「わかりやすく」「内容の充実」を心掛け、1人でも多くの皆さんに読んでいただけたような広報にしたいと思っています。

去る11月12日、佐井村では初の「こども議会」が開催されました。次代を担う子供たちが緊張感漂う中、毅然とした態度で一般質問を行なう姿を拝見し、我々議員もこれまで以上の努力が必要であると、改めて感じさせられました。

(宮川)

議会広報編集委員会

委員長	田中 岩男
副委員長	山口 捷夫
委員	宮川 尚
委員	竹内 典和
委員	根岸 浩則